

やさしい街

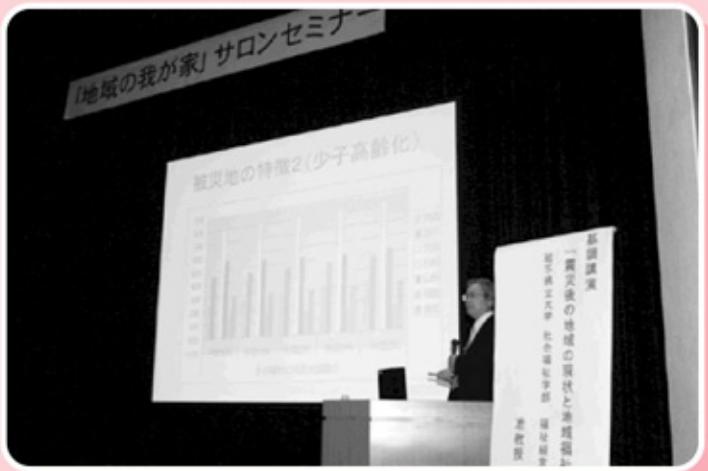
広報誌
No. 187

みれあい
ネットワーク



さっぽろ市社協

～広がれサロン活動の輪～



地域で暮らす高齢者や子育て中の親子、障がいのある人たちの仲間づくりや居場所づくり、地域の情報交換の場として大きな広がりを見せているサロン活動について多くの方々に关心を持っていただくことを目的に、札幌市社会福祉協議会とNPO法人シーズネットの共催で、平成23年11月14日（月）に札幌サンプラザにて「地域の我が家」サロンセミナーを開催し、講演の部と活動紹介の部の2本立ての内容で開催しました。

「地域の我が家」サロンセミナーの詳細については、本会ホームページに掲載しています。

CONTENTS

- 2 年頭挨拶**
- 3 新・さっぽろ市民福祉活動計画の意見募集**
- 4 地域福祉情報提供**
- 5 札幌市ボランティア研修センターから**
- 6 福祉サービス利用支援関連事業ピックアップ**
- 7 シリーズ「これも社協の仕事」「区社協ココイチ事業をご紹介」**
- 8 情報トピックス**



本誌は赤い羽根共同募金の助成金で発行されています

年頭のご挨拶

札幌市社会福祉協議会 会長 大 公一郎

昨年の東日本大震災という未曾有の大災害により、痛ましい犠牲となられた方々に対し、謹んでご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族の方々、さらには、今なお厳しい避難生活を余儀なくされておられる多数の方々に心よりお見舞いを申し上げます。

これまで、本会といたしましては義援金募集のための街頭募金活動や災害ボランティアバスの運行、本会職員の被災地への派遣などを通じて、被災地の復興、被災者の生活再建の支援活動に微力ながら協力をさせていただきましたが、今後もなお、息の長い支援活動を進めていくことが必要であると感じているところでございます。



さて、昨今の社会に目を向けてみると、長引く不況による深刻な雇用情勢や、地域における福祉課題の複雑・多様化、地縁社会の崩壊などにより、人と人とのつながりが希薄化し、「無縁社会」とまで言われる状況が生まれてあります。そうした中にあって、地域福祉を推進する社会福祉協議会においては、常に、新たな挑戦や取り組みが求められているところでございます。

現在、本会におきましては、平成24年度からの札幌市地域福祉社会計画の改訂に併せて、「新・さっぽろ市民福祉活動計画」(平成24年度～平成29年度)の策定作業を進めています。「誰もが孤立せずにお互いに支え合うやさしい街づくり」を基本理念といたしまして、「市民があ互いに支え合う活動の推進」、「福祉的な支援を必要とする方々を支える活動の推進」そして「地域の社会資源との連携・協働によるネットワークの推進」という基本目標を掲げ、これを具体化するための事業を盛り込むことを検討しておりますが、こうした計画に基づき、取組みを実行していくためには、市民の皆様のご理解とご協力が不可欠でございます。

私どもといたしましては、本年も、地域の皆様とともに地域福祉の推進に向けて、共に歩んでまいりたいと思いますので、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

*ホームヘルパー養成講座2級通信課程(最短29日資格取得コース)
受講期間3か月一部削除題4回提出→スクーリング8回→実習5日間
忙しい方も通信講座なら資格GETが可能です。(1月30日開講)

*介護保険事務士上級e-ラーニング

いつでもどこからでもPCさえあれば自由に学べるe-ラーニングシステム!
コンプライアンス・労務管理・請求事務等即戦力になる知識講義です!

*介護保険事務士上級通学講座

①2/4から4/21毎週土曜全12回 2コースから選択できます。
②3/14から3/30平日全12回
PCがない方、通学で勉強したい方、事務のことを知りたい方、おまちしております!

求職者支援訓練 2月・3月(月寒教室)同時募集中!

詳しくは...今すぐHPへGO!!

⇒ <http://www.tsushimaikinen.ac.jp>

[Mailでのお問い合わせ先]

⇒ m_kobayashi@tsushimaikinen.ac.jp

●お問い合わせ 医療・福祉の現場から誕生した

学校法人つしま記念学園

専門学校日本福祉学院
札幌市中央区南1条西4丁目5-1 札幌大手町ビル9階
TEL 011-218-7400

板垣美津子税理士事務所

税理士 板垣 美津子

〒003-0021 札幌市白石区栄通20丁目2番5号
TEL 836-1041番 FAX 836-0963番

地下鉄南郷18丁目 徒歩7分

皆様のご意見をお待ちしております

－新・さっぽろ市民福祉活動計画－

札幌市社会福祉協議会では、「さっぽろ市民福祉活動計画」(計画期間平成21年度～24年度)を全面的に見直し、平成24年度以降の本会総合計画となる「新・さっぽろ市民福祉活動計画」の策定準備を進めています。昨年4月からプロジェクトチームを構成し、有識者・本会役員等からもご意見をいただき、新計画の新規・レベルアップ事業計画(案)を下記のとおり策定いたしました。この計画案に対し、市民の皆様からのご意見等を募集します。

新計画は、より幅広い世代の住民参加と札幌市民との協働・ネットワークを基本としており、より多くのご意見をお寄せください。新計画の新規・レベルアップ事業計画(案)の内容等詳細は本会ホームページ (<http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>) をご覧ください。なお、恐れ入りますが、ご意見は2月末日までにお願いいたします。

▽ 新規・レベルアップ事業の概要 (詳細は本会ホームページをご参照ください)

1. 地区福祉活動座談会

地区社協の関係者と地域内の関係機関・団体等が一同に会する「座談会」を札幌市内全地区で概ね年1回開催し、「地域の目指す姿」を語り合います。

2. 見守り・訪問活動強化事業

毎月3日を見守り訪問の日と定め、65歳以上の一人暮らし世帯や高齢夫婦などへの「見守り・訪問活動」を強化し、孤立死、虐待、消費者被害などの予防・早期発見する仕組みづくりを目指します。

3. 地区福まち拠点活性化事業

地区福まち拠点が、「よろず相談所」としての相談体制を整備し、情報発信やニーズ把握機能を高めて、より市民に近い存在となるための支援を推進します。

4. ふれあい・いきいきサロン縁結び事業

地域学校や空き店舗等を活用し、単位町内会などより身近な地域でのサロンの開設につながるための支援を市・区社協が一体となり推進します。

5. 災害時地域支え合い普及啓発事業(仮称)

町内会、福まち、各種学校等にて災害時の普及啓発を実施すると共に、札幌市・区災害ボランティアセンターの支援やリーダーを担う人材を養成します。

6. 成年後見制度を支える市民後見人の養成に向けた調査研究事業

「市民後見人」養成の必要性について調査研究を行い、札幌市の権利擁護を推進します。

7. 地域福祉トータルケアモデル事業

全市1地区をモデル地区に指定し、できる限り要介護状態にならない予防の取り組み、見守りやゴミ出し、金銭管理などの生活支援サービスの充実を図ります。

ご意見・ご提案については、郵便又はEメール、ファックスでお待ちしています。

《提出先》住所：札幌市中央区大通西19丁目 札幌市社会福祉総合センター
FAX：011-614-1109 E-mail：info@sapporo-shakyo.or.jp

* 平成23年度「福祉用具講演会・展示会」のご案内*

- 日 時／平成24年2月14日（火）
講演会：13時30分から15時 展示会：13時から16時
- 場 所／札幌市社会福祉総合センター（札幌市中央区大通西19丁目1-1）
4階大研修室・4階福祉用具展示ホール
- 内 容／講演会
テーマ「コンチネンスケア（排泄ケア）～すべての人が気持ちよい排泄ができる社会～」
講 師：NPO法人日本コンチネンス協会 北海道支部 支部長 大科 宣子 氏
福祉用具展示会
福祉用具関連企業連絡会の協力により、車いす、杖、ベッドなどの福祉用具の展示を行っています。
- 定 員／250名（定員になり次第締め切ります。）
- 参 加 費／無料
- 参加申し込みについて／2月13日（月）までに下記へお申込みください、
- 詳 紹／総務課（8P参照）

出会い ふれあい バザール 2012

市内の障がい者福祉施設や小規模作業所の利用者が心をこめて制作した製品の販売を行います。手芸品・木工品など数多く用意しておりますので、ぜひご来場下さい。



日 時／平成24年2月15日（水）～17日（金）
10:00～19:00（※15日（火）のみ12:00～19:00）

場 所／ジャスコ札幌元町店 1階
東区北31条東15丁目1-1
地下鉄東豊線「新道東駅」下車徒歩3分

販売品（予定）
手芸品 小銭入れ、ティッシュケース、ハンカチ、マフラー、エプロン、ぬいぐるみ、ストラップ、レターセットなど
木工品 積み木セット、パズル、メモホルダー、まな板など
食 品 マドレーヌ、クッキー、サブレ、コーヒー豆など

詳細 総務課（8P参照）

● 第9回盲導犬宿泊体験セミナー開催案内 ●

盲導犬は目の不自由な方を安全に目的地に誘導することがお仕事です。このセミナーは、実際に盲導犬との歩行や生活体験をしていただくことによって、盲導犬についての知識をよりいっそう高めていただくことを目的としています。

参加者には現在訓練中の盲導犬候補生たちをお渡しします。盲導犬ユーザーになりきって、新しい世界へ一歩足を踏み入れてみませんか？



- 日時 平成24年3月24日（土）13時～3月25日（日）14時
- 会場・宿泊先 北海道盲導犬協会（南区南30条西8丁目1-1）
- 参加対象 視覚障がいによる身体障害者手帳をお持ちの15歳以上の方で、これまで盲導犬との生活を体験したことのない方。同伴の方も参加可。
- 募集人員 7名（7名を超える応募があった場合は選考あり）
- 参加費 2,500円（食事代・宿泊費込み）
- セミナー内容 盲導犬との体験歩行、盲導犬管理体制験、参加者や現役盲導犬ユーザーとの交流など
- 申込締切 平成24年2月29日（水）
- その他 別途、点字・白黒反転・拡大・縮小文字での案内文もご用意しております。
盲導犬に興味がある方で、今回のセミナーに参加できない方もご連絡ください。別途ご相談させていただきます。
- 申込・詳細 公益財団法人北海道盲導犬協会
電 話：011-582-8222 F A X：011-582-7715
E-mail：e-kono@h-guidedog.org

じっくりボランティアを学びます！

第3期「札幌ときめき大学」入学希望者募集！

札幌市社会福祉協議会は、ボランティア活動にかかる講座を受講し、卒業後にボランティア活動を継続して行うボランティアリーダーを養成することを目的に「札幌ときめき大学」を開講いたします。

貴方の夢を実現するため、人と出会い、ときめきを仲間と語り合い、ボランティア活動で、ときめきを見つめませんか？貴方の勇気ある一步をお待ちしております。

【開講期間】平成24年4月～10月（日中コース）

【開講場所】札幌市ボランティア研修センター研修室 他

【対象者】札幌市在住で継続して講座に参加し、8割以上の参加が見込める方

ボランティアに関する実技にも参加できる方

卒業後、ボランティア活動に継続して参加できる方

【定員】30名（定員を超えた場合、選考あり）

【講座数】50講座（予定）

【講座内容】車いす介助、視覚障がい手引き、知的障がい支援、朗読・読み聞かせ、手話、傾聴、収集、ボランティア体験等

【受講料】1万円（初日にまとめてお支払いいただきます。途中でやめられても返金はいたしませんのでご留意ください。有料となる資材等は個人負担があります）

【申込方法】2月24日（金）までに郵送又はファックス等により入学希望申込書を送付ください。（当日の消印有効。）※申込書を希望される方は、ボランティア研修センターまで問合せください。

【選考】入学希望申込書に基づき選考し、3月9日（金）を目途に入学の合否をお知らせいたします。

【その他】全講座の8割以上出席された方には、修了証書をお渡しします。
希望により託児も実施しますので、ご相談ください。



第2期ときめき大学 前期コース受講者

平成23年度在宅ボランティア講座（第3回）開催のお知らせ

札幌市ボランティアセンターでは、ボランティア活動に関心があり、今後ボランティア活動を希望される方や、在宅での介護について知識を深めたい方などを対象に、「在宅ボランティア講座」を下記のとおり開催いたします。

ボランティア活動を始められるきっかけとして、また、ボランティア活動の幅をより広げたいとお考えの方のご参加をお待ちしております。

【開催日時】2／24（金）、2／28（火）、3／2（金）、3／6（火）、3／7（水）～15（木）のいずれか1日ボランティア体験、3／16（金）【全6回】9：30～17：00の間

【定員】30名（先着順。定員になり次第締め切らせていただきます）

【講座内容】手話体験・車いす操作方法・視覚障害者に対する歩行補助（実習）・高齢者への接し方と食事介助（実習）など

【開催場所】札幌市ボランティア研修センター「第2研修室」他

【申込方法】下記まで電話またはFAXにてお申込みください。

【受講料】1,000円〈資料代等〉※研修初日に徴収いたします。



上記講座の問い合わせ・申込先

札幌市ボランティア研修センター（8ページ参照）

地域包括支援センター・介護予防センターの紹介

地域包括支援センターは、高齢者やそのご家族が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を送ることが出来るように、介護、福祉、医療など様々な面から総合的に地域ぐるみで高齢者を支える仕組みを作る拠点として、札幌市が設置しています。市内には、現在21カ所設置されており、本会では、中央区第1・北区第1・北区第3・西区第2地域包括支援センターの4カ所を受託運営しています。

また、介護予防センターは、介護予防を推進するために、地域包括支援センターの機能を補完する機関として設置され、本会では1カ所を札幌市から受託運営しています。

このような困りごとがありますか？



最近、物忘れが多い気がして不安なんです。



介護保険について教えてもらいたい。



1人で夫の介護をしてきたが、疲れてきてしまつて。



1人暮らしの母が悪質な訪問販売の被害にあつてしまつた。



家の段差をなくしたり、手すりをつけるのにはどうすればいいの？

このような困りごとは、「地域包括支援センター」「介護予防センター」でご相談できます！！

● 地域包括支援センターの業務内容 ●

○ 総合相談の窓口

高齢者やその家族からの介護や福祉などに関する相談を受け、地域や関係機関との連携を図りながら様々な制度や地域資源の活用につなげていきます。

○ 虐待の早期発見・防止などの権利擁護

高齢者虐待の早期発見・防止のための地域支援体制づくり、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のために情報提供を行っていきます。

○ 介護予防マネジメント

要支援1・2の方に対する介護予防ケアプランの作成、また、要支援・要介護になるおそれのある方に対し、生活機能の改善をめざしたプログラムに参加していただくための必要な支援を行います。

○ 地域のケアマネージャーの支援

地域のケアマネジャーが円滑に仕事ができるよう、ケアマネジャーのネットワークづくりやマネジメントに関する助言などを行います。

● 介護予防センターの業務内容 ●

○ 地域の高齢者の方を対象にした介護予防業務

ボランティア等を活用しての介護予防活動、介護予防に関する情報の提供等や高齢者を対象としたすこやか倶楽部、転倒予防教室などの介護予防事業を実施しています。

○ 総合的相談支援

高齢者や家族からの相談を総合的に受け、訪問などにより実態を把握し、必要なサービスにつなぎます。

○ 地域の介護予防活動支援

民生委員や福祉のまち推進活動と連携・協力して地域に介護予防を啓発・普及します。

● 相談に応じる職員 ●

地域包括支援センター……主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などの資格を持つ専門職員

介護予防センター……保健福祉職

地域包括支援センター・介護予防センターの問い合わせ先

お住まいの地域によって担当する地域包括支援センター・介護予防センターが異なります。まずは、お住まいの区役所の保健福祉課へご相談ください。

シリーズ 「これも社協の仕事」

本会では、事業所・施設・在宅福祉活動団体等の団体と連携・協調し、在宅・地域福祉活動の推進に努めています。シリーズ「これも社協の仕事」の5回目は、社協が事務局支援を行っている「札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会」「札幌市老人福祉施設協議会」「札幌市在宅福祉活動団体連絡会」の活動を紹介します。

〈社協が関係する各種団体の紹介〉

団体名	札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会	札幌市老人福祉施設協議会	札幌市在宅福祉活動団体連絡会
目的	市内の介護保険サービス事業所の相互の連携と介護保険に関する情報を共有化し、介護サービスの質を向上させることも目的とします。	高齢者福祉の増進と地域福祉の発展向上、並びに老人福祉施設の経営と管理運営の充実を図るために、各施設相互の連携を密にして、施設利用者のサービス向上、施設職員の資質向上、事業に関する調査、研究、協議を行い、高齢者福祉サービスの充実向上に寄与することを目的とします。	市内を活動拠点とする福祉分野のNPO法人、非営利活動団体、地域ボランティアなどの市民活動団体の資質向上と相互のネットワーク、関連福祉情報の共有化を図り、新しい「ふれあい社会」づくりに寄与することを目的とします。
会員数	298事業所 ※平成24年1月末現在	75施設 ※平成23年3月末現在	24団体 ※平成23年3月末現在
主な事業	・「介護連協」だよりの発行（年3回） ・各種研修会の開催 ・市民向けフォーラムの開催	・会員施設への情報提供 ・各種研修会の開催 ・会員施設相互の協調親睦	・総会・特別講演会の開催 ・交流サロンの実施 ・広報紙の発行（年1回）

〈会員を募集しています〉

それぞれの団体では、入会を希望する事業所・施設・団体を募集しております。加入を希望される場合は、本会へお問い合わせください。

区社協ココイチ！事業をご紹介

南区社協 福祉除雪「地域協力員」の地域への理解と働きかけ

今年も12月1日から全市一斉に「福祉除雪サービス」を開始しました。福祉除雪サービスは、高齢や障がいにより自力で除雪をすることのできない世帯を対象に、玄関前の除雪を行うもので、平成13年から実施しています。

このサービスで大きな役割を担っているのが「地域協力員」という除雪ボランティアの方々です。地域協力員の構成としては、個人や町内会などの地域住民組織及び地域企業、学校、団体に大別されますが、そのうち、個人や地域住民組織の割合が一番高いのが南区です。今年度の割合は、区全体の8割を超え、札幌市全体の平均割合を大きく上回っており、福祉除雪に高い関心があることがわかります。

澄川中学校の生徒さんは、平成15年から校区内対象世帯の除雪活動に取り組んでおり、地元の澄川地区社協の協力のもと、今年は33世帯を担当しています。

除雪申込世帯数が年々増加する状況に対応するため、南区社会福祉協議会では、各地区社会福祉協議会を通して「地域協力員」の登録を広く呼びかけ、初めて福祉除雪に携わる方々への説明会をこれまで継続して開催し、除雪の仕方や担当していくいただく世帯の確認をするなど、お互いにコミュニケーションを取り合うことによって、不安を少しでも解消することに取り組んでいます。

また、「福祉除雪サービス」では対象としていない、屋根の雪下ろしについて、区内にある東海大学の学生さんや陸上自衛隊真駒内駐屯地曹友会のみなさんの協力を得て、ボランティア活動の調整をしています。

南区社会福祉協議会では、これからも「地域協力員」への登録に向けて、より一層地域との連携を図ります。



澄川地区社協主催の澄川中学校の福祉除雪協力員説明会の様子

今回で市内10区社会福祉協議会のココイチ事業の紹介を終わります。

各区社協社会福祉協議会では、紹介した事業以外にも地域と連携した事業を実施していますので、これからも紙面にて紹介していきたいと思います。

札幌市ボランティア研修センター各種研修会のご案内

1日福祉セミナー～裁判員制度について～

- ▼内容／平成21年から開始された裁判員制度の実際にについて学んでみませんか？
- ▼講師／札幌高等検察庁 職員
- ▼日時／2月10日(金)13:30～15:30
- ▼場所／札幌市ボランティア研修センター 第1研修室
- ▼申込方法／電話かFAX
- ▼定員／40名(先着順) ▼受講料／500円

▽お申込み・お問い合わせ
札幌市ボランティア研修センター
(下記参照)

音楽ボランティア養成講座

- ▼内容／子どもや高齢者に対する音楽レクリエーションの基本的知識と技術を学びます。
- ▼講師／日本音楽療法学会認定音楽療法士 土屋 益子氏、畠山 悠子氏
- ▼日時／2月16日(木)、20日(月)、23日(木)
10:00～15:00
3月1日(木)、9日(金)
10:00～12:00
- ▼場所／札幌市ボランティア研修センター第1研修室
- ▼申込方法／電話かFAX ▼定員／30名(先着順)
- ▼受講料／1,800円

ご寄付ありがとうございました (札幌市社会福祉協議会愛情銀行)

12月受理分

- ★札幌防犯健全協力会 様 100,000円
- ★999人の第九の会 様 100,000円
- ★真如苑 様 500,000円



札幌防犯健全協力会 様



999人の第九の会 様



真如苑 様

1月受理分

- ★札幌信用金庫 様
車いす5台



札幌信用金庫 様

札幌市社会福祉協議会の連絡先

〒060-0042

札幌市中央区大通西19丁目1番1号 札幌市社会福祉総合センター内

代表	011-614-3345
総務課	011-614-3343
札幌市社会福祉総合センター	011-614-2948
地域福祉課地域福祉係	011-614-3344
" 生活福祉係	011-614-0169
FAX（上記共通）	011-614-1109
情報センター資料室	011-614-2001
FAX	011-615-2666
自立支援課	011-612-6110
高齢者・障がい者生活あんしん	011-632-7355
支援センター（相談係）	
FAX（上記共通）	011-613-5486

〒060-0001

札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ2F

札幌市ボランティア研修センター	011-223-6005
札幌市ボランティアセンター	011-219-1737
FAX（上記共通）	011-261-8881

札幌市社会福祉総合センター・札幌市ボランティア研修センターでは会議室、研修室の貸出を行っています。ボランティア活動や市民活動の打ち合わせや研修の場としてご活用ください（受付時間：月曜日から金曜日8:45～17:15）。

身近な地域福祉情報は、お近くの区の社会福祉協議会の広報誌・ホームページをご覧下さい。

ホームページアドレス <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>

札幌市社会福祉協議会広報誌「やさしい街」

通巻187号 2012年1月25日発行

発行／社会福祉法人札幌市社会福祉協議会

賛助会員の募集

札幌市社会福祉協議会では、活動に賛同し協力していただける賛助会員を募集しています。皆様からいただいた賛助会費は、札幌市の地域福祉を推進する貴重な財源として、様々な事業に役立てています。本会の活動の趣旨をご理解いただき、地域福祉のサポーターとして、お互いに支え合う街づくりの実現のため、ご協力をお願いいたします。

【年会費】

■個人（1口）1,000円 ■団体（1口）10,000円

問い合わせ先 総務課（左記参照）

情報センター資料室より

今回のオススメ

『住民流助け合い起こし』

木原 孝久 著 筒井書房

「助け合い」という視点から、地域住民による、地域住民のための地域福祉活動を提案。

「支えあいマップ」「ネットワークづくり」「ご近所活動」など、身边に感じられる事例を通して、すぐに実践できる具体的な活動方法を紹介します。

